

6 国際交流・社会貢献等の概要

(1) 外国の大学との協定状況

① 本学と協定を結んでいる海外大学等

2025年5月1日現在

海外の大学名	協定内容
ミズーリ大学セントルイス校(米) University of Missouri–St. Louis	学術交流
テキサス大学健康科学センター(米) The University of Texas Health Science Center at Tyler	学術交流
カリフォルニア大学ロサンゼルス校(米) University of California, Los Angeles	学術交流
マルケ工科大学(イタリア) Polytechnic University of Marche	学術交流
フェラーラ大学(イタリア) University of Ferrara	学術交流
ウプサラ大学(スウェーデン) Uppsala University	学術交流
シェブデ大学(スウェーデン) University of Skövde	学術交流
ラハティ応用科学大学(フィンランド) LAB University of Applied Sciences	学術交流
ベオグラード大学(セルビア) University of Belgrade	学術交流
レスター大学(イギリス) University of Leicester	学術交流
ハルツ応用科学大学(ドイツ) Harz University of Applied Sciences	学術交流
ISART デジタル(フランス) ISART Digital	学術交流
ポーランド・日本情報工科大学(ポーランド) Polish Japanese Academy of Information Technology	学術交流
シレジア大学(ポーランド) University of Silesia in Katowice	学術交流
ジェロナグラ大学(ポーランド) University of Zielona Gora	学術交流
サバンチ大学(トルコ) Sabanci University	学術交流
マンガプロダクションズ(サウジアラビア) Manga Productions	学術交流
南オーストラリア大学(オーストラリア) University of South Australia	学術交流
カーティン大学(オーストラリア) Curtin University	学術交流
クイーンズランド大学(オーストラリア) The University of Queensland	学術交流
オークランド大学(ニュージーランド) University of Auckland	学術交流

海外の大学名	協定内容
オタゴ大学(ニュージーランド) University of Otago	学術交流
ムンバイ化学技術研究所(インド) Institute of Chemical Technology (ICT), Mumbai	学術交流
ブラウイジャヤ大学(インドネシア) University of Brawijaya	学術交流
スラバヤ工科大学(インドネシア) Institut Teknologi Sepuluh Nopember	学術交流
バンドン工科大学(インドネシア) Bandung Institute of Technology	学術交流
セコラ ティンギー テニック スラバヤ(インドネシア) Sekolah Tinggi Teknik Surabaya	学術交流
インドネシア全国私立大学連盟中部ジャワ支部(インドネシア) (Asosiasi Perguruan Tinggi Swasta Indonesia Wilayah Jawa Tengah)	学術交流
チュラロンコーン大学(タイ) Chulalongkorn University	学術交流
タマサート大学(タイ) Thammasat University	学術交流
キングモンクット工科大学(タイ) King Mongkut's University of Technology Thonburi	学術交流
シラパコーン大学(タイ) Silpakorn University	学術交流
デラサール大学(フィリピン) De La Salle University	学術交流
アルバイリサーチ&イノベーションセンター(フィリピン) Albay Research and Innovation Center	学術交流
カント医科大学(ベトナム) Can Tho Medical College	学術交流
ホーチミン市工業大学(ベトナム) Industrial University of Ho Chi Minh City	学術交流
東部国際大学(ベトナム) Eastern International University	学術交流
FPT大学(ベトナム) FPT University	学術交流
経営科学大学(マレーシア) Management & Science University	学術交流
マラ工科大学(マレーシア) Universiti Teknologi MARA	学術交流
テイラーズ大学(マレーシア) Taylor's University	学術交流
モンゴル科学技術大学(モンゴル) Mongolian University of Science and Technology	学術交流
又松大学(韓国) Woosong University	学術交流
延世大学(韓国) Yonsei University	学術交流
南台科技大学(台湾) Southern Taiwan University of Science and Technology	学術交流

海外の大学名	協定内容
国立成功大学(台湾) National Cheng Kung University	学術交流
朝陽科技大学(台湾) Chaoyang University of Technology	学術交流
国立陽明交通大学(台湾) National Yang Ming Chiao Tung University	学術交流
中国地質大学(中国) China University of Geosciences	学術交流
浙江工業大学(中国) Zhejiang University of Technology	学術交流
北京石油化学学院(中国) Beijing Institute of Petrochemical Technology	学術交流
山東理工大学(中国) Shandong University of Technology	学術交流
浙江大学(中国) Zhejiang University	学術交流
吉林动画学院(中国) Jilin Animation Institute	学術交流
重慶科技学院大学(中国) Chongqing University of Science and Technology	学術交流
三峡大学(中国) China Three Gorges University	学術交流
湖北美術学院(中国) Hubei Institute of Fine Arts	学術交流
香港城市大学(香港) City University of Hong Kong	学術交流

②本学と協力関係にある海外大学等

海外の大学名
カーネギメロン大学(米) Carnegie Mellon University
マサチューセッツ工科大学(米) Massachusetts Institute of Technology

(2) 社会貢献活動

八王子キャンパス

① 八王子市中学校科学教室

2023 年度に引き続き、八王子市立中学校に在籍する生徒が、理科や科学への興味・関心を高めることを目的とした八王子市中学校科学教室を八王子教育委員会と連携して開催した。

八王子市立中学校の生徒 29 名が月に 1 回、本学に来学し、教員・ティーチングアシスタントの指導のもと、化学、バイオ、物理、プログラミングといった様々な科学実験や演習に取り組んだ。

② 特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業への協力

文部科学省が実施する、特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業のうち、特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援に関する実証研究を行う団体に八王子市教育委員会が採択された。この実証研究では、学校と地域の大学等が連携して、特異な才能のある児童生徒を対象に、その才能の伸長を支援する講座を設けることになっている。2024 年度は、本学が、児童生徒に対するプログラミング教育とコンピュータグラフィック教育を本学が担当した。コンピュータサイエンス学部とデザイン学部の教員やティーチングアシスタントが、児童生徒に合わせた指導を 10 回行った。

③ 佼成学園女子中学高等学校と高大連携授業の実施

2023 年 3 月に結んだ協定に基づき、佼成学園女子高校の 2 年生を対象としたキャリア系授業の一環として、応用生物学部とデザイン学部の教員と学生による出張講義および大学キャンパスでのスクーリングを実施した。

蒲田キャンパス

① 東京国際空港航空事故消火救難総合訓練の協力

2024 年 10 月 24 日、東京国際(羽田)空港で実施された航空機事故消火救難総合訓練に、医療保健学部学生 74 名、日本語学校 21 名、専門学校 71 名(教員含めて 180 名)が傷病者役ボランティアとして参加。

② 大田区企画経営部企画課×デザイン学部(平和島まちづくりに関わるフィールドワーク)

2024 年 11 月 10 日大田区・京浜急行電鉄(株)・他、企業が連携し、京急線平和島駅周辺を今以上に魅力と活気溢れるまちにするため、地域の住民・学生、事業者など含め、平和島に興味・関心のある方々と一緒にワークショップやイベントなどの様々な取組を行うプロジェクト。

③ 大田区連携ワークショップ 2024(2024 年 8 月から 2025 年 3 月)

教養学環サービスラーニング I・II をベースとした演習科目をデザイン学部の社会連携実習 I・II にあたる試行版として実施。2025 年 3 月 10 日に大田区関係者 14 名と学生 11 名の合同発表会を実施。

④ こども家庭庁×大田区こども支援センター協賛、全国リレーシンポジウム

こどもや若者の意見を聴き、こどもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践して家庭のこと、子育てのことなど、大田区長、他、関係者を含めたシンポジウム(12 月 15 日)に学生がレポーター役で参加。

⑤ デザイン学部と日本包装機械工業会における協賛事業

デザイン学部と包装機械工業会との協賛事業について、デザイン学部教員がジャパンパックに参加。今後、教員、及び、学生含め、事業協力する方向で計画案を作成。包装機械工業会理事会にデザイン学部の協賛計画書を提出する。

⑥ 大田区大好き委員会、西口商店街振興組合への支援

デザイン学部教員、及び、学生有志にて、大田区西口商店街大規模液晶テレビに放送する映像ビデオを制作。この事業は次年度も継続して実施。今後、大田区西口商店街振興組合プロモーション、及び、西口商店街の町おこし支援を含めた大田区地域力応援基金助成事業の支援のもと実施。

⑦ 佼成学園女子中学高等学校公開授業支援(2024年12月18日)

本学と連携する佼成学園女子中学高等学校の生徒10名が蒲田キャンパスのデザイン学部を訪れ、成果を発表しました。

(3)産学官連携

① コーオプ教育プログラムの実施

本学工学部では、平成27年度(2015年度)からコーオプ教育プログラムを必修として導入しています。コーオプ教育とは、学内の事前・事後授業と企業での就労経験型学修を組み合わせた教育プログラムです。事前教育では課題解決に用いられるグループワークの手法、就業マナー、報連相等を学び、実習先の企業研究などを行い、2年次後期(機械工学科)、または3年次前期(電気電子工学科、応用化学科)に企業で約2か月間の就業体験を行います。この期間は企業から賃金が支払われ、企業の一員として就業を行います。事後教育では就業体験での学びを振り返り企業へその成果を発表するとともに、キャリア教育の推進、主体的な学修の定着を図ります。

工学部開設10周年を記念して、「コーオプ教育シンポジウム」を開催し、これまでのコーオプ教育の成果と実績を発表し、シンポジウム参加企業、大学関係者等で今後のコーオプ教育についての意見交換がされました。

また、令和3年度(2021年度)より、応用生物学部、コンピュータサイエンス学部、メディア学部では選択科目として、春期と夏期休暇期間中に約3週間のコーオプ教育を実施しています。

平成28年(2016年)9月から令和6年(2025年)3月までに、約2400名の学生が約450社の企業で就業体験を行いました。

② 産官学・地域連携シーズ集の刊行

「産官学・地域連携シーズ集」は、冊子版とWeb版を制作しているが、2024年度は、内容を新たにリニューアルのうえ、制作した。本冊子は、本学の教員が保有するシーズをまとめたもので、地域連携・産学連携に役立てることを目的としている。

③ 八王子市商工会議所との技術指導契約の締結について

八王子市商工会議所が行っている、「出前研究室」について、2024年4月1日より本学も参画すべく技術指導契約を締結しました。出前研究室は、八王子市商工会議所に加盟する八王子市内の企業の相談目的とその内容に応じて、本学の教員が企業に出向いてその解決にあたる活動である。

④ 第7回 CMC（セラミックス複合材料）シンポジウムの開催

2024年10月17日(木)に開催された2024国際航空宇宙展において、第7回目となるCMCシンポジウムを開催し、国内外の研究者による講演が行われた。参加者は、130名以上で立ち見が出るほどの盛況であった。

⑤ CMCセンターとプラット&ホイットニー社（アメリカ）との研究

世界最大の航空機ジェットエンジンメーカーの1つである、プラット&ホイットニー社と、2024年4月1日からセラミックス複合材料（CMC）に関する研究を開始しました。この連携により、プラット&ホイットニー社の民間航空機エンジンへのCMCの導入が加速されることが期待される。

⑥ センターの研究活動報告・対外広報

本学の複数の学部・学科・専攻が横断的に連携し、先端分野の研究に取り組む中で、その活動の活性化と社会に対して、本学の活動を可視化するための次代を見据えた研究センターとして、以下の4つの研究センターを、2024年4月1日に設置し、2024年度は下表のとおり対外活動を行った。

- ①食と農の未来研究センター
- ②未来モビリティ研究センター
- ③ヒューマンムーブメントセンター
- ④デジタルヘルス・イノベーションセンター

実施日	概要
2024年10月15日(火)～18日(金)	幕張メッセで開催された、CEATEC2024において、各センターの研究紹介を出展した。
2024年12月19日(木)～20日(金)	東京たま未来メッセで開始された「たま未来連携 EXPO2024」において、各センターのパネルの展示を行った。
令和7年3月3日(月)～17日(月)	東京たま未来メッセで開催された、「多摩地域 産官学民連携支援事業」において、片柳研究所に設置している研究センターに関する展示を行った。

⑦ 外部資金の獲得状況

各省庁や国立研究開発法人が配分機関となっている競争的資金は2023年度の63,755千円であったが、2024年度は、49,004千円となった。

企業との受託研究、共同研究は、2023年度の108,567千円から、116,958千円となった。また、企業からの奨学寄附金は、2023年度の6,201千円から、6,743千円となった。

(4) 大学間連携

① 大学コンソーシアム八王子における単位互換制度

大学コンソーシアム八王子参加大学間で単位互換協定を結び、各大学等の特色ある科目をお互

いに履修でき、そこで取得した単位は自大学の単位として認定されます。2024 年度は、山野美容芸術短期大学から 2 名の学生が本学の授業科目を履修した。

② 私工大懇話会加盟図書館相互利用

「私工大懇話会」とは東京周辺に所在する理工系大学 13 校の図書館が相互協力を行い、教職員や学生の研究教育活動に資することを目的に、昭和 56 年(1981 年)11 月に組織された、私立工科系大学のネットワークです。

図書館では加盟大学図書館同士の相互協力の一環として資料の閲覧、貸出サービスを行っています。各館とも貸し出し限度は 2 冊 2 週間となっており、直接返却のほか郵送(料金は利用者負担)も認めています。